



【再び来られる復活の主】

聖書本文:ヨハネの福音書21章1-17節・暗唱聖句:ローマ人への手紙510章9-10節

説教者: 鄭南哲 牧師

(Rev. Jung nam-chul)

「その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちがいたところでは、ユダヤ人を恐れて戸に鍵がかけられていた。すると、イエスが来て彼らの真ん中に立ち、こう言われた。『平安があなたがたにあるように。』こう言って、イエスは手と脇腹を彼らに示された。弟子たちは主を見て喜んだ。」(ヨハネ20章19-20節)

愛するクリスチャンプレイズチャーチ信仰の家族みなさん！イースターおめでとうございます！今年も我らの救い主なるイエスキリストの復活を祝うイースターを迎えました。イースターの主の日の朝、集っている愛するクリスチャンプレイズ教会の愛する兄弟姉妹とともに、我らの中に、復活され、今も生きておられる主イエスキリストが来られ、大いなる恵みと豊かな祝福をお与えて下さるようにお祈り申し上げます。

イエス様の当時、イースターの主の日の朝、復活の日の弟子たちの姿を思い巡らします。扉を閉じ、鍵をかけ、部屋の中に閉じこもっていた弟子たち！彼らの心もまたユダヤ人に対する恐れと不安の中で閉ざされていました。しかし死に打ち勝って確かによみがえられた主イエス・キリストはその真ん中にお出でくださいました！そして「平安があなたがたにあるように！」とってくださいました！今日も復活の主が来られ、我らにもこの世と違う神の平安で我らを包んでくださいますように祈ります！そして主イエスの十字架の傷跡を前に「弟子たちは主を見て喜んだ」とあるように、人生の不安と恐れの中にいる私たちも今日の礼拝の中で復活の主と出会い、触れられ、大きな喜びと感謝が満ち溢れる時となりますように切にお祈り申し上げます！

<本文>

今日の聖書本文は復活の主が過ちを経験し、信仰が弱まっていた弟子たちの生活の現場にまで来られ、一人一人を回復させて下さるドラマがガリラヤの水辺(すいへん)で展開されていた内容です！

本文の2-3節をみると、ティベリヤの湖畔(こはん)の所は、イエス様の時代には、エルサレムから歩いてガリラヤの湖畔まで、3日間かかる距離で、ペテロと弟子たちはエルサレムを離れ、歩いて、以前の自分の地元に戻って来ていることが分かります。ペテロだけではなく、トマスとナタナエル、ゼバダイの子たち、そして、ほかの弟子二人もペテロと一緒に来たことが分かります。すでにエルサレムで2度もよみがえられたイエス様と出会った弟子たちだったのに、なぜ、エルサレムで続けてとどまらず、3日間も離れていた以前の自分たちの地元に戻って来たのでしょうか、その理由ははっきり教えていませんが、今日の本文の後半で、よみがえったイエス様がペテロとの会話と姿を通して、関係を立て直し、もう一度主から与えられていた人生の大事な使命を取り戻して下さる内容を通して、一つ推測が出来る事があります。

ペテロの場合は、イエス様の弟子たちの心の奥底には、復活されたイエス様と出会うたびに、イエス様の復活が確かであることが信じられれば信じられるほど、以前自分がイエス様を3度も裏切ってしまった失敗と申し訳なさ、十字架の前で逃げた自分たちの信仰の無さと弱さ、だから自分には本当はイエスの弟子としてのもう資格がないのではないか。自分よりもっと相応しい人たちが、イエス様の弟子となった方が良いのではないか、ペテロだけではなく、他の自分たちにも、復活されたイエスキリストの御前で、イエスの弟子として到底恥ずかしく、もうイエス様のお働きに関わることなんて失格だ！という思い込んでいたかも知れません！

だから、これから、イエス様の弟子じゃない普通の生活に戻り、しないといけないうえ、選んだ場所がペテロとゼバダイの子たちの地元、彼らの以前の生活の現場で(ルカ5章)でした。ペテロ、ゼバダイの兄弟ヤコブとヨハネだけではなく、一緒に来たほかの4人弟子たちも、きっと、同じ心境と状態だったでしょう。なので、合わせて7人の弟子たちが一緒にティベリヤつまり、ガリラヤの湖のところに来たことが分かります。

<1. 再び彼らがいるところに訪ねて来られる復活の主(1~7節)>

今日の本文の1節から7節までによりますと、イエスの死と復活の後、ペテロをはじめとする弟子たちの7人がティベリヤ(ガリラヤ)湖で魚(りょう)に行ったところにも、訪ねて下さいます！今日もよみがえられ生きておられる主イエスは、礼拝していた場所、祈られた場所、宣教地ではなく、彼らの生活しているところにも訪ねて下さいました。ところが、問題は、生活の現場によみがえられたイエス様が現れましたが、最初弟子たちは、すぐに気づかず、全然分からなかったことです！まさかこんなところにまでイエスキリストが来られるなんて。後で、弟子たちは、そこに現れたイエス様のお言葉を聞いて、その通り網を下ろしてから、奇跡的に多くの魚が取れてようやく、その方が蘇られたそのイエス様であることが分かりました！それは、まさか、弟子たちは、復活された主がこんな自分たちまで、そして、このようにエルサレムから離れた自分たちの日常の現場にまで、ここまで！直接来て下さるとは、まったく思ってもなかったようです！

蘇られた主は今日も私たちの生活の現場である家庭の中に、職場の中にも来て下さり、我らの人生を顧みて下さるお方であり、復活の主イエスキリストは今日も、今も、教会だけではなく、祈る場だけではなく、主のために奉仕する場だけではなく、

みなさんの日常生活の中にも来られ、共におられるお方です！ 皿洗いをしている、子供たちを育てる、家族と共にいるみなさんの家庭にも来られ、日常の働いているみなさんの職場にいる時にも来て下さいます！

我らの人生の歩みの中では様々な問題がありますが、私たちの生活の現場にも来て下さり、その復活のイエス様と出会い、待ち望み、親しく交わることが出来るお方です。

本日復活の主日朝、もう一度共にまず、今のみなさんの家庭に、生活の現場に来て下る復活の主がいつでも共におられることを忘れない全クリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族となりますように切にお祈り申し上げます！

<2. 失敗とトラウマに直面させ乗り越えさせる復活の主>

人はみんな成功を望みます。みな目標を目指し、願いどおり、物事がうまく行くと願ってない人はだれもいないと思います。だれも過ちを犯したり、失敗して、過去のトラウマにとらわれたくないでしょう。しかし、過ぎ去った以前のことを振り返って見れば、物事が願う通りうまく行った時があれば、思わぬ辛い過ちや失敗の経験をした時もあったのではないのでしょうか。

真面目な人や熱心な人、情熱とやる気を持って頑張ろうとするタイプの人であればあるほど、自分が犯してしまう過ちや失敗は、自分を赦すことが難しく、自分にがっかりしたり、深いトラウマになってしまう時があります。しかし、そのような過去の自身の失敗やトラウマにずっととらわれていると、自分も知らないうちに、萎縮され、無気力になったり、周りの人や新しい関係を作っていくことを拒否したり、恐れを抱いたりします。そして、本来の神様から頂いた自分の人生の目標、もしくはビジョンを失わせてしまいます。前を進むことをふさいで、立ち止まらせ、もっと成長と新たな変化も拒否し、ずっと安住させようとし、自分自身をなかなか赦さず、自己憐憫に陥りやすくさせてしまいます。

今日の弟子たちも、すでに2度もイエス様と出会うたびに、どれほど感謝と喜びも溢れていたでしょうか。

しかし、ペテロとイエス様の弟子たちには、解決しなければ、ならない心の奥底に隠していた自分の大きな失敗による深くトラウマに捕らわれていたかも知れません。蘇ったイエス様の御顔を会すると、イエス様が苦難を受けられた時に否定したり、呪ったりした姿、イエス様の十字架の前で他の人々にイエス様の弟子である関係がばれてしまったら、どうなるかと恐れと不安で逃げ去っていた自分自身がどれほど心痛み、いやになったのでしょうか。イエス様の弟子としてまじめで、熱心だったペテロこそ、そういう振る舞いしか出来なかった自身を許せない、これ以上弟子としての失格なしという自己憐憫と自己否定に陥っていたのではありませんか。

復活のイエス様は、ペテロはじめ、弟子たちのその深い心の傷や失敗によるトラウマの捕らわれていた心のすべての状態を知っておられました！そして、彼らのところにまで行かれ、温かくそのトラウマになったところを直面させながら、それを乗り越けていけるように回復させて下さいます。

みなさんは、まず、ペテロがイエス様を知らないと言いつつも否定したり、キリストの十字架の前で身を隠しながら、トラウマになって、もう二度も見たくも、聞きたくも、食べたくもなかった物は何かご存じでしょうか。鶏でしょう！

イエス様が「まことに、あなたに言います。今夜、鶏が鳴く前に三度わたしを知らないと言います。」(マタイ26:34)と言われたお言葉に、ペテロは自己満々で、自己過信しながら、「ペテロは言った。「たとえ、あなたと一緒に死ななければならぬとしても、あなたを知らないなどは決して申しません。」弟子たちはみな同じように言った。(マタイ26:35)」言われました。しかし、彼は3度もイエス様を否定し、呪った途端に、鶏が泣きましたよね。

聖書は、その時を生々しく証言して下さいます。

「するとペテロは、嘘ならのろわれてもよいと近い始め、「そんな人は知らない」と言った。すると、すぐに鶏が鳴いた。75ペテロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と言われたイエスのことばを思い出した。そして、外に出て行って激しく泣いた。」(マタイ26:74-75)と記されています。

おそらく、ペテロは彼の失敗の傷が癒される前まで、もしかして、一切鶏を見たくも、鶏肉(とりにく)料理も食べなくなったかも知れません。もしかして、エルサレムで毎朝鶏の鳴く声を聞きたくないから、海辺のところまで逃げ来て来たかも知れません。3！という数字もいやになって、トラウマになっていたかも知れません！

そして、ペテロは以前大祭司の家の庭で炭火に当たりながら、イエス様の弟子であることを否定しました。以前炭火の前でイエスキリストを否認しながら失敗してしまった為ペテロは炭火さえもいやでトラウマになっていたかも知れません。

それらを全てご存じあった復活の主は、本文9節に、イエス様が言われた通りしたら、多くの魚をとって来た時、イエス様が、以前彼が失敗した時と似てる状況つくりになり、待ってておられました。海辺(うみべ)で火を焚き、炭火(すみび)とその上で魚とパンを用意して彼を食べさせます。イエス様は一度過ちと失敗した環境や状況で、どうして私を裏切ったのか、どうして、あなたたちの為に背負った十字架から逃げってしまったのか、決して叱られず、むしろ、温かく、以前の家族のようにペテロや弟子たちを食べさせて下さいました！！

愛する弟子ペテロを再び立ち上がらせようとしておられた復活の主の温かい御心が見えて来ますか。

それだけではなりません！

ペテロが一番トラウマになっていた数字はいくらかご存じでしょうか。**数字3!**じゃないかと思われます。ペテロのトラウマになつたり、過去の犯した過ちをずっと思い出させる物が数字‘3’だったと思ひます。ペテロはイエス様を**三度否定しました!** とももペテロは、十字架につけられる前夜ゲッセマネでイエス様が絶えず祈りに専念しているうちに、ペテロ含め、弟子たちはみんな寝込んでいたと聖書は証言しています。**「それから、イエスは弟子たちのところに戻つて来て、彼らが眠っているのを見、ペテロに言われた。『あなたがたはこのように、一時間でも、わたしといっしょに目を覚ましていられなかつたのですか。41誘惑に陥らないように、目をさまして祈つていなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです』(マタイ26:40-41)、イエス様は、3度祈りながら、三度も折ることを言われたのにも関わらず、イエス様の御言葉と祈りに対し、そんなに真剣に受け取らなかつた以前の過ちを忘れられなかつたはずでしょう。そして、その結果、ついに3度もイエス様を裏切つてしまう許せない大きな自分の失敗を招いてしまったのです。**

しかし、よみがえられ、彼に來られたイエス様は、**ペテロに三度目**(「**イエスが死人の中からよみがえつて、弟子たちにご自分を現されたのは、これですでに三度目である(ヨハネ21:14)**」)現わされ、**そして、今日の本文15-17節**でペテロに3度も同じ愛(関係)の質問(15「ヨハネの子シモン!あなたは、この人たち以上に、わたしを愛していますか。ペテロは答えます「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたをご存じです!」16節に、2度目も同じイエス様の質問とペテロの答え、17イエスは3度ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン!あなたはわたしを愛していますか。」と言われたので、ペテロはイエスが三度目も、「あなたはわたしを愛していますか」と言われたので、心痛めてイエスに言った。「主よ、あなたは、すべてをご存じです。あなたは、私があなたを愛していることを知っておられます!」)3度答えさせます。**決してイエス様のいたずらとか、苦しませるためではありません!**ペテロの心の奥底に閉じ込められていた、自分の深い傷とトラウマ、罪責感の全てを、同じ3度目の愛の告白を通して、信仰を失い、希望を失つても、キリストを愛する今のままの関係で十分であり、彼を癒し、回復させて下さる復活の主の優しい導きでありました!!

みなさん、特にまた面白かつたのは、ペテロとともにいた弟子たちがイエス様によって、取つた魚数も153匹ではないでしょうか。復活の主イエスキリストは自然に3とトラウマのものに直面させながら、**これ以上ペテロが自分の失敗に捕らわれず、乗り切るように直面させた**と信じます。あらゆる問題の解決策は問題から逃げるのではなく、**問題に立ち向かう時、得られます。我らも、自分の過去の傷やトラウマから回復され、癒される道は、主の御前に正直にそれを認め、吐き出す事から真の回復と癒しの道に主が導いて下さると信じます。**

<③心と関係の回復をさせ、人生の新たな目標と使命を与えて下さる復活の主>

ルカの福音書5章を見ると、今日の本文ととても似てゐる場面がありました。つまり、イエス様が、初めてガリラヤの海辺でイエス様がペテロとヤコブとヨハネに訪ねて來られた時が出ています。ペテロは夜通し頑張りましたが、魚(うお)を全く取る事ができませんでした。その時、イエス様が深いところに行つて網をおろすようにと言われます。ペテロが主のお言葉に従つて深いところに行つて網をおろした時、今まで経験したことがなかつたたくさんの魚を取る事を体験しました。**イエス様が彼らをこれから魚を獲る漁師ではなく、人を獲る漁師とさせ、人生の新たな目標と使命を与えながら弟子として招いた下さつた内容と今日も御言葉はとても似ています。**なぜ、復活の主は、この7人の弟子たちに、そして、少なくともペテロにそのような体験をさせたのでしょうか。**もう一度、はじめの初心、その時の信仰、イエス様との本来の愛の関係を取り戻させようとされる御心**だつたでしょう。

本日本文15-17節によりますと、**イエスキリストを何度も裏切つた人であり、大きな失敗をし、トラウマにひどく捕らわれ無気力になっている人々であっても、再びイエスキリストを愛する関係であるなら、主は必ず回復させて下さるだけではなく、立たせて下さいます。**今日の本文の**12、15節**を見て見てください。**彼らのため食事を整え、共に食事されます。**イエス様は失敗と敗北感に捕らわれているペテロや弟子たちにまず、食事を準備して食べさせてくださいました。**共に食事をする関係!** 実には聖書はとても大切に教えて下さいました。**ヨハネ黙示録3:20「見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」**(あなたがどんなに私を否定し、裏切つたとしても、私から離れようとしても、私の前でどんな赦されなさそうな過ちや罪を犯したとしても、あなたは! 変わらない神の家族であり、いつまでも共にし、愛し合う関係であること)をともに食事をしながら、確かめ悟らせて下さいました!

全き愛と豊かな恵みを通して、失敗した弟子たちを回復させて下さる素朴な海辺の朝食の時でした。

復活された主とともに、みなさんもこの豊かなキリストの食卓の交わりをともにする弟子の一人となりますように!

失敗した過去を振り払つて立ち上がり、未来に向かって歩めるようにして下さつたのです。

イエスは彼に言われた。主は我々に望んでおられる関係は、愛そのものです。

今日も復活の主は、何か素晴らしい信仰とか、大きな希望ではなく、我々が主と愛し合う関係の回復を望んでおられます。

マタイの福音書22章37-40節「イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが重要な第一の戒めです。『あなたの隣人をあなた自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、

それと同じように重要です。この二つの戒めに律法と預言者の全体が、かかっているのです。」

本当の愛一つだけあれば、すべて関係が回復され、癒され、可能です！私たちも、サタン誘惑や攻撃を受けて信仰が揺らぎ、失敗する時があるかも知れませんが、そんな時にも復活の主は、まず私たちをご自分との愛の関係の中に招いて下さいます。

ペテロから愛の確認をされた後、次は使命を託(たく)して下さいます。

それを通して、ペテロを過去の失敗に対する罪責感から回復させ、再び愛に満ちた主の弟子として立ち上がらせて下さいます。そして、復活のイエス様は**3度羊を飼うという新たな使命(わたしの子羊を飼いなさい(15節)/わたしの羊を牧しなさい(16節)/わたしの羊を飼いなさい(17節))**を与えられたのです。**結局、彼らは、ガリラヤ湖でずっととどまらずに、全世界まで(たとえ、7人の弟子たちの中、トマスはインドまで行きました。**出て行き、多くのたましいを助け、イエスキリストの十字架の愛と恵みの福音を通して、多くのたましいが神の救いを得られるように、主の教会を建て上げることに大いに用いられました。

<結論>

イエス様がつけられた十字架は、神様の失敗の場所のように見えるかも知れませんが、神様の恵みは失敗の場所であった十字架の上に臨まれました。その恵みは復活の恵みでした！回復の恵みでした！新しい出発の恵みでした！イエス様の十字架は神様の失敗作のように見えたが、その十字架をとおして復活という傑作が見いだされました。まさにペテロが受けた恵みは、その十字架と復活の恵みでした。彼は何度も過ちと失敗を通して死の経験をしました。しかし、イエス様の愛を通して、もう一度すべて本来通りに回復させて下さる経験をしました。自分の最悪の失敗を通して最高の傑作を作った復活の主の恵みを経験しました。**彼らの失敗を用いて下さいました。私たちも過去の失敗を変えることはできません。しかし、イエスキリストによって、我々の未来はこれからいくらでも変えることができます。**

今日も、これからも愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさんの上に主の変わらない愛が豊かに注がれますように切にお祈り致します。しかし、願わぬ過ちを犯し、失敗を経験される時もあるかも知れませんが、その時は失敗のため落胆しないで下さい。決して絶望しないで下さい。

今も生きておられる主イエスキリストは、我らの過ちや失敗が人生の停止ではなく、立ち上がらせ、さらに新しく方向転換できるように導いて下さいます。

願わくは、2023年イースターの主日の朝、どんな失敗をしたとしても、過ちを犯したとしても、失敗したペテロと弟子たちになされたように、復活の主がみなさんにも、家庭にも再び訪ねて下さいますように！いつもよみがえられた主イエスキリストがみなさんとともにおられ、変わらない愛を持ってみなさんとともに交わり、主の癒しと回復の恵みと御力がみなさんの上に豊かに与えて下さる一年となりますように救い主なる主イエスキリストの御名によって心からお祈り致します。アーメン！